

2022年度 シャクヤク病害虫防除暦

JA 中野市営農センター

散布量 10a 当たり 300ℓ

当防除暦の複製・コピーを禁止します。



散布日	露地作型						散布日	ハウス作型					
	回数	散布時期	散布薬剤	濃度	水 100ℓ 当薬量	対象病害虫		回数	散布時期	散布薬剤と濃度	濃度	水 100ℓ 当薬量	対象病害虫
／	①	4/上 萌芽期	展着剤 (ハイテンパワー) オーソサイド水和剤 80 オルトラン水和剤	10,000倍 600倍 1,500倍	10ml 166g 66g	立枯病 アブラムシ類 ヨトウムシ	／	①	2/上 萌芽期	展着剤 (ハイテンパワー) オーソサイド水和剤 80 オルトラン水和剤	10,000倍 600倍 1,500倍	10ml 166g 66g	立枯病 アブラムシ類 ヨトウムシ
／	②	4/下 出蕾期	展着剤 (ブレイクスルー) ゲッター水和剤	10,000倍 1,000倍	10ml 100g	灰色かび病	／			ガードベイト A	-	-	ネキリムシ類
／	③	5/上 摘蕾後	展着剤 (ブレイクスルー) ポリオキシシン AL 水溶剤 スミチオン乳剤	10,000倍 2,500倍 1,000倍	10ml 40g 100ml	灰色かび病 ハマキムシ類 (アブラムシ類、コウモリガ)	／	②	出蕾期 展葉期	展着剤 (ハイテンパワー) ゲッター水和剤	10,000倍 1,000倍	10ml 100g	灰色かび病
／							／	③	茎葉 繁茂期	展着剤 (ブレイクスルー) トレノックスフロアブル スミチオン乳剤	10,000倍 500倍 1,000倍	10ml 200ml 100ml	灰色かび病、 ハマキムシ類、 (アブラムシ類)
／	④	5/中 収穫 3日前	展着剤 (ブレイクスルー) フルピカフロアブル アクタラ顆粒水溶剤	10,000倍 2,000倍 2,000倍	10ml 50ml 50g	灰色かび病 (アブラムシ類)	／	④	摘蕾後	展着剤 (ブレイクスルー) ポリオキシシン AL 水溶剤	10,000倍 2,500倍	10ml 40g	灰色かび病
／							／	⑤	収穫 3日前	展着剤 (ブレイクスルー) フルピカフロアブル アクタラ顆粒水溶剤	10,000倍 2,000倍 2,000倍	10ml 50ml 50g	灰色かび病 (アブラムシ類)
／	⑤	6/中 花芽 形成期	展着剤 (ハイテンパワー) トップジンM水和剤 オルトラン水和剤	10,000倍 1,500倍 1,500倍	10ml 66g 66g	菌核病 ヨトウムシ、 アブラムシ類	／	⑥	5/下 花芽 形成期	展着剤 (ハイテンパワー) トレノックスフロアブル	10,000倍 500倍	10ml 200 ml	灰色かび病 (褐斑病、炭そ病)
／	⑥	7/上	展着剤 (ハイテンパワー) モレスタン水和剤	10,000倍 2,000倍	10ml 50g	うどんこ病	／	⑦	6/中	展着剤 (ハイテンパワー) トップジン M 水和剤 オルトラン水和剤	10,000倍 1,500倍 1,500倍	10ml 66g 66g	灰色かび病 アブラムシ類 アオムシ ヨトウムシ類
／	⑦	7/下	展着剤 (ハイテンパワー) トレノックスフロアブル	10,000倍 500倍	10ml 200ml	灰色かび病、 (褐斑病、炭そ病)	／	⑧	7/上	展着剤 (ハイテンパワー) モレスタン水和剤	10,000倍 2,000倍	10ml 50g	うどんこ病
／	⑧	8/下	展着剤 (ハイテンパワー) トップジンM水和剤	10,000倍 1,500倍	10ml 66g	灰色かび病 (うどんこ病)	／	⑨	7/下	展着剤 (ハイテンパワー) トレノックスフロアブル	10,000倍 500倍	10ml 200ml	灰色かび病 (褐斑病、炭そ病)
／	⑨	9/中	展着剤 (ハイテンパワー) モレスタン水和剤	10,000倍 2,000倍	10ml 50g	うどんこ病	／	⑩	8/下	展着剤 (ハイテンパワー) トップジンM水和剤	10,000倍 1,500倍	10ml 66g	灰色かび病 (うどんこ病)

- ◎灰色かび病は低温、多湿で発生するので、ハウス内換気等総合的に防除する。また間引き作業によって風通しを良くする。
- 灰色かび病の防除にあたっては、同一薬剤の連用は避ける。治療効果を求める場合は、ゲッター、ポリオキシシン AL、ピクシオ のいずれかを選択する。
 - 斑葉病 (茎の赤い斑点) は、通風、残さ処理、草丈 15 cm 時の防除 が重要 除草と定期防除を行う。
 - 収穫後のトップジンM水和剤は、茎葉と地際部にも散布し立枯病を予防する。
25℃以上の高温により多発するため地温が上がる前の5月中旬頃にトップジンM水和剤 または ユニフォーム粒剤を株元散布すると立枯予防となる。
 - うどんこ病多発園は枯れこみが早いので収穫後も防除を必ず行う。11月まで葉色を維持し光合成により十分な養分蓄積を目指す。
 - 薬剤による汚れが気になる場合は、ゲッター水和剤に代えてアフエットフロアブルを散布してもよい。
 - 10a 当たり薬剤散布量は、萌芽期 100ℓ、出蕾期 200ℓを目安とし、以降は 300ℓとする。展着剤 果樹栽培者は、ブレイクスルー に代えて ササラ 3,000 倍 でもよい。

シャクヤク (花き) 農薬適正基準

薬剤名	発生病害虫	希釈倍率	使用時期	使用方法	使用回数(以内)
オルトラン水和剤	アブラムシ類、(1,000 倍アオムシ、ヨトウ)	1,000~1,500 倍	発生初期	散布	5回
スミチオン乳剤	アザミウマ類、ハマキムシ類、アオムシ	1,000 倍	発生初期	散布	6回
アクタラ顆粒水溶剤	ミカンキロアザミウマ 1,000 倍、ハモグリバエ類	2,000 倍	発生初期	散布	6回
ゲッター水和剤	灰色かび病	1,000 倍	生育期	散布	5回
トップジンM水和剤	菌核病、	1,500 倍	生育期	散布	5回
ポリオキシシン AL 水溶剤	灰色かび病、うどんこ病、黒斑病、ハダニ	2,500 倍	発生初期	散布	8回
フルピカフロアブル	灰色かび病	2,000~3,000 倍	生育期	散布	5回
アフエットフロアブル	灰色かび病、うどんこ病	2,000 倍	発病初期	散布	3回
トレノックスフロアブル	灰色かび病、炭そ病	500 倍	発病初期	散布	6回
ピクシオ DF	灰色かび病	2,000 倍	発病初期	散布	4回
オーソサイド水和剤 80	立枯病、茎腐病	600 倍	生育期	散布	8回
モレスタン水和剤	うどんこ病、(ハダニ類)	2,000~3,000 倍	発病初期	散布	10回
トリフミン水和剤	うどんこ病、(炭そ病)	3,000 倍	発病初期	散布	5回
カリグリーン	うどんこ病	800 倍	発病初期	散布	-
サンヨール	うどんこ病、灰色かび病、アブラムシ類、ハダニ類	500 倍	発生初期	散布	8回
ダコニール 1000	うどんこ病、斑点病	1,000 倍	発生前 (予防)	散布	6回
モンカットフロアブル 40 取り寄せ	白絹病	1,000~2,000 倍	-	株元散布	3回
ユニフォーム粒剤	立枯病 (リゾクトニア菌)	18kg/10a	定植時または生育時	土壌表面散布	3回
ガードベイト A	ネキリムシ類	3kg/10a	生育初期	株元散布	6回

病害虫発生前の早期防除に取り組み、安全・安心な農産物生産しましょう。

*農薬混用例 水 → 展着剤 → 液剤 → 乳剤 → 顆粒水溶剤 → 水溶剤 → フロアブル剤 → DF → 水和剤